

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻 第 5 号

第 5 週 (1月29日 ~ 2月4日)

発行年月日:平成19年(2007年) 2月 8 日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

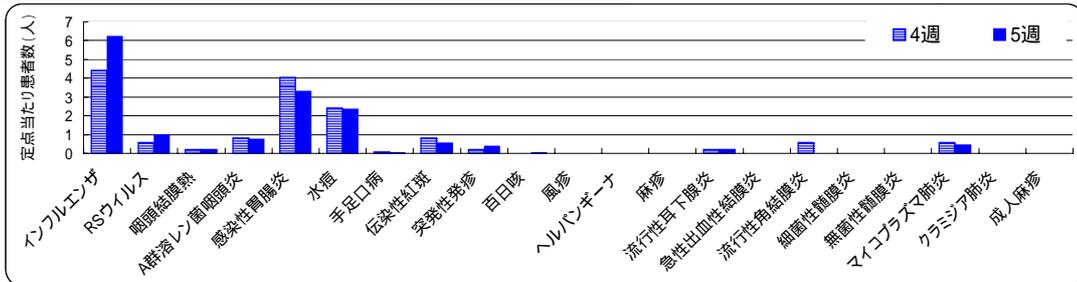
インフルエンザの発生は増加傾向 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第1~5週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第4週(1月22日~1月28日)の報告数よりさらに多くなっており、特にインフルエンザで急増しています。増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

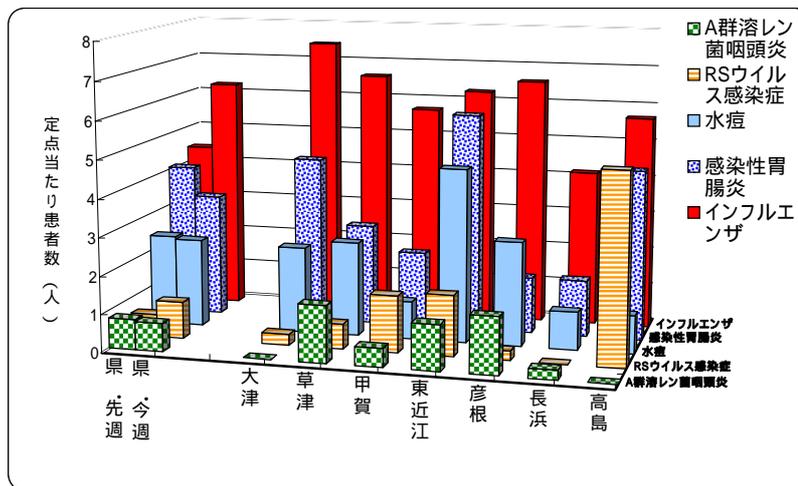
また、「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、水痘および伝染性紅斑(リンゴ病)に流行発生警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、五類感染症のクロイツフェルト・ヤコブ病1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第5週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

インフルエンザは先週に引き続き増加傾向となっています。また、水痘は東近江で、RSウイルス感染症は高島で多くなっています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第1~5週、1/1~2/4)

感染症類型	疾患名	報告年月日	概 要		
			病型、菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし				
二類感染症	報告なし				
三類感染症	報告なし				
四類感染症	レジオネラ症	H19.1.17	肺炎型	日本国内	塵埃感染
五類感染症	アメーバ赤痢	H19.1.15	腸管外アメーバ症	日本国内	経口感染
	クロイツフェルト・ヤコブ病	H19.2.2		日本国内	不明

警報・注意報発生状況

水痘の警報・注意報発生状況(平成18年第49週～平成19年第5週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
49週	2.47		1.43		0.17		1.00		6.80		5.50		1.50		1.00	
50週	3.66		1.00		0.83		1.75		9.80		6.75		4.25		2.50	
51週	3.13		1.14		0.33		2.00		10.20		3.75		2.50		3.00	
52週	4.25		3.71		1.50		0.50		8.60		10.25		2.50		2.50	
1週	3.78		3.86		1.50		6.25		8.00		4.75		0.25		0	
2週	2.91		1.86		1.50		0.75		7.60		4.50		1.75		2.50	
3週	3.13		1.43		3.33		2.50		7.40		4.25		1.00		1.00	
4週	2.41		1.71		2.83		0.75		4.20		2.75		2.25		2.00	
5週	2.34		2.29		2.50		1.00		4.60		2.75		1.00		1.00	

■ :警報発生中
 ■ :注意報発生中
 警報発生基準値 : 定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。
 注意報発生基準値: 定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(平成18年第49週～平成19年第5週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数															
49週	0.75		0.29		0.67		0.25		0.60		2.75		0		1.50	
50週	0.47		0.29		0.33		0		0.20		2.25		0		0.50	
51週	0.47		0.14		0.17		0		0.80		0.75		0		3.00	
52週	0.59		0.14		0.33		0		0.80		1.50		0		3.00	
1週	0.72		0.57		0.67		0		1.20		1.25		0		2.00	
2週	0.56		0.43		0.50		0.50		1.00		0.50		0.25		1.00	
3週	0.78		0.14		0.50		0.25		1.20		2.00		0.25		2.50	
4週	0.81		0.14		0.50		0.50		1.80		1.00		0.25		3.00	
5週	0.56		0		1.00		0.25		0.60		1.25		0.25		1.00	

■ :警報発生中
 警報発生基準値: 定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人以下になるまで継続して出されます。

咽頭結膜熱の警報発生状況

平成18年第51週以降草津保健所管内に流行発生警報が出されていましたが、草津保健所管内の定点当たり患者数が警報発生基準値以下(定点当たり患者数 0.1人)になったので、全ての保健所管内に警報は出されていません。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide06.html>

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき、医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (5週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (5週)	全国 (5週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	2	1	47
	細菌性赤痢	0	0	64	6 ^{(*)2}	483
三類感染症	腸チフス	0	0	3	0	72
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	63	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	4	2	70
	A型肝炎	0	0	13	21	316
	オウム病	0	0	1	0	22
	デング熱	0	0	3	0	57
	マラリア	0	0	0	0	61
	レジオネラ症	0	1	37	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	1	69	8	738
	ウイルス性肝炎	0	0	11	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	10	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	13	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	0	99	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	4	1	87
	梅毒	0	0	37	4	625
	破傷風	0	0	3	1	115
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	8	0	79
	急性脳炎	0	0	14	1	160

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第5週(1/29～2/4) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
二類感染症: 細菌性赤痢 19例	A型肝炎 2例	後天性免疫不全症候群 20例
コレラ 1例	ボツリヌス症 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
パラチフス 1例	レジオネラ症 6例	腸球菌感染症 3例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 5例	レプトスピラ症 1例	ウイルス性肝炎 2例
四類感染症: つつが虫病 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 12例	急性脳炎 2例
Q熱 3例	ジアルジア症 1例	梅毒 10例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成18年第52週～平成19年第5週、12/25～2/4)

疾患名	定点当たり患者数						
	前週より増加			前週と同じ		前週より減少	
	52週 (12/25～)	1週 (1/1～)	2週 (1/8～)	3週 (1/15～)	4週 (1/22～)	5週 (1/29～)	1 2 3 4 5
インフルエンザ	0.92	0.28	1.11	2.04	4.42	6.23	
RSウイルス感染症	0.75	0.63	0.31	0.53	0.59	0.97	
咽頭結膜熱	0.28	0.09	0.13	0.34	0.19	0.19	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.38	0.75	1.00	0.81	0.75	
感染性胃腸炎	8.66	4.94	5.13	3.81	4.06	3.28	
水痘	4.38	3.78	2.91	3.13	2.41	2.34	
手足口病	0.19	0.16	0.13	0.13	0.06	0.03	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.69	0.72	0.56	0.78	0.81	0.56	
突発性発しん	0.47	0.13	0.28	0.56	0.19	0.38	
百日咳	0	0	0	0	0	0.03	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.50	0.47	0.41	0.19	0.19	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0.29	0.43	0.29	0.57	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0.57	0.43	0.57	0.43	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

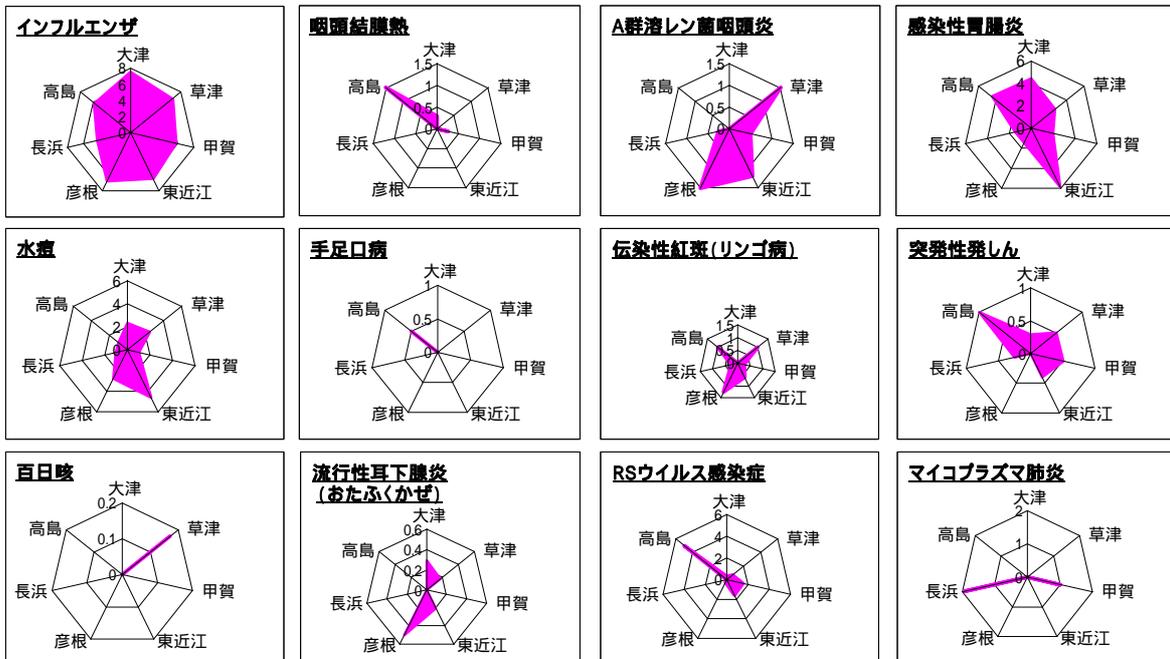
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第5週、1/29~2/4)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	6.23	7.45	6.60	5.71	6.25	6.57	4.14	5.67	
RSウイルス感染症	0.97	0.29	0.67	1.50	1.60	0.25	0	5.00	
咽頭結膜熱	0.19	0.29	0	0.25	0	0	0	1.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	0	1.50	0.50	1.20	1.50	0.25	0	
感染性胃腸炎	3.28	4.43	2.67	2.00	5.80	1.50	1.50	4.50	
水痘	2.34	2.29	2.50	1.00	4.60	2.75	1.00	1.00	
手足口病	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	0	1.00	0.25	0.60	1.25	0.25	1.00	
突発性発しん	0.38	0.29	0.50	0.50	0.40	0	0.25	1.00	
百日咳	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.29	0.17	0	0.20	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	1.00	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 2 4 6 8
定点当たり患者数(人)

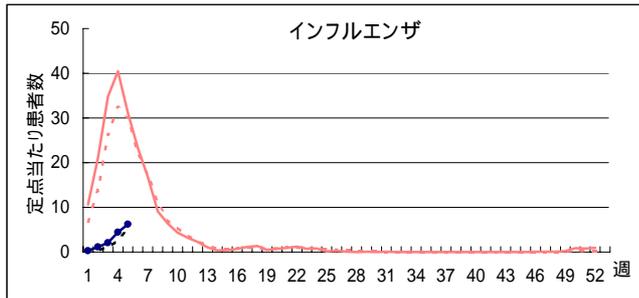
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



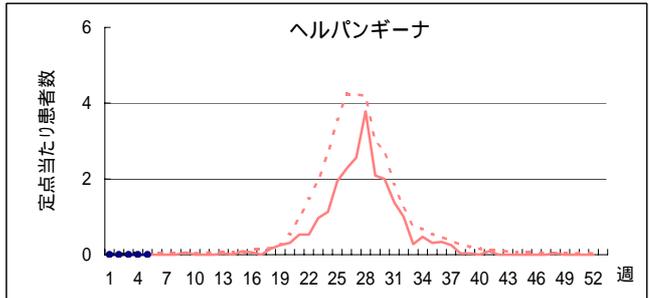
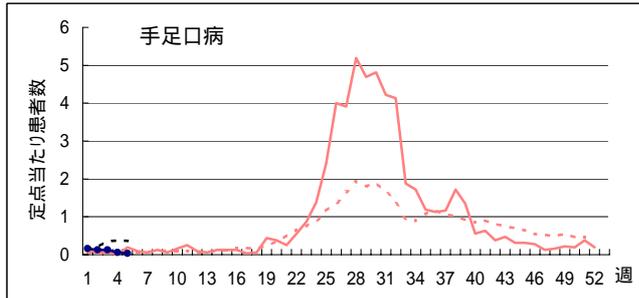
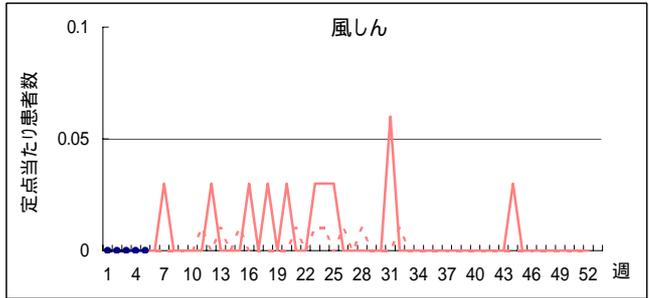
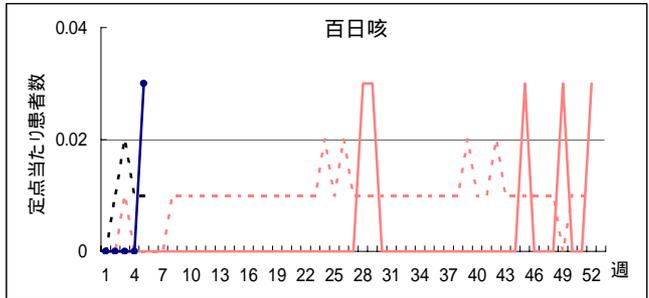
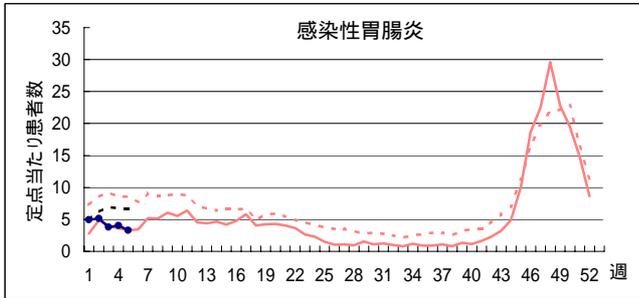
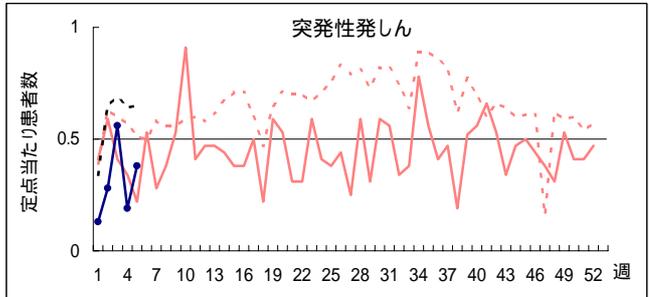
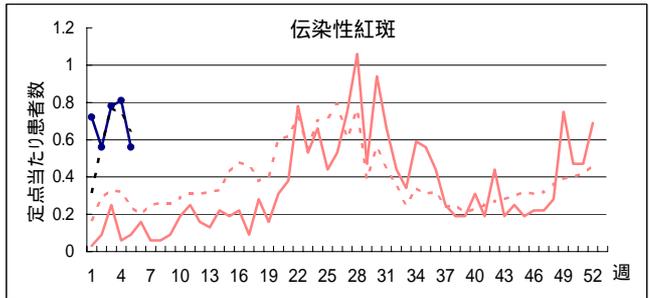
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----県全体では先週に引き続き急増しています。また、全国の定点当たり患者数は流行の目安としている 1.00を上回りました(第3週 1.06)ので、**インフルエンザの流行シーズンに入った**と考えられます。
- 咽頭結膜熱-----平成18年第51週以降、草津保健所管内に警報の発生が出されていましたが、今週の定点当たり患者数は0となり警報発生基準値以下となりました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 県全体では先週より減少していますが、草津および彦根でやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----東近江では先週に引き続き多くなっています。また、甲賀および高島で先週よりかなり増加しています。
- 水痘-----大津、甲賀および東近江で先週より増加しています。
- 手足口病-----高島から報告されています。
- 百日咳-----草津から報告されています。
- 伝染性紅斑-----草津および彦根で先週より増加し、彦根および高島では流行発生警報が引き続き発生しています。
- 突発性発しん-----県全体では先週より増加しています。
- 流行性耳下腺炎-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- RSウイルス感染症-----大津および長浜以外で先週より増加し、特に甲賀および高島で先週より急増しています。
- マイコプラズマ肺炎-----先週と同様、甲賀および長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第5週、H19.1.1～H19.2.4)



H18 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H19 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第5週、H19.1.1～H19.2.4)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

